

3 月 定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

- 1 開 催 日 令和6年3月7日（木）
- 2 開 催 場 所 新館10階 大会議室
- 3 出席した委員 小南教育長、溝口委員、播委員、坂元委員、土屋委員
- 4 出席した職員 織田教育総務部長、桐山教育指導部長、
稲岡教育総務部次長、福島教育指導部公民館統括担当参事、
井上教育指導部活動地域移行調整担当参事、
今津教育指導部青少年育成担当参事、
衣笠教育指導部教職員研修担当参事、
福本教育総務課長、松尾学務課長、梅野社会教育課長、
真鍋学校教育課長、藤尾青少年育成課長、
河村文化財調査研究センター所長、田村中央図書館長、
横田学校施設課長、石坂少年自然の家所長
吉田教育総務課副課長、竹内教育総務課管理調整係長
- 5 傍 聴 者 0人
- 6 議 事 の 要 旨
- 開 会 午後2時00分
- 会議録署名委員指名のこと
溝口委員に決定
- 2月定例教育委員会の会議録報告承認のこと
(事務局から会議録朗読報告)
承認
- 会議公開の可否決定のこと
協議事項6件すべて公開することに決定

(協議事項)

1 令和5年度3月補正予算に係る意見について

(教育総務部次長より説明)

原案可決

教 育 長 : 中学校教授用物品購入事業について、デジタル教科書の購入額確定に伴う減額補正とあるが、当初予算と比較して半分以上の減額補正となっており、購入後の残額分とは考えにくいですが、他に理由はあるのか。

事 務 局 : 当初予算要求時は全て市費での予算計上をしていたが、国が半数の学校に対して予算措置する旨確認したため、減額補正している。

委 員 : 地域部活動推進事業について簡単に説明してほしい。

事 務 局 : 地域部活動推進事業は、中学校の部活動を地域クラブに移行するための事業である。

当初検討していた試行プランの開始時期がずれ込んだことや、国の補助金等の方針変更から、地域コーディネーターの配置を見送ったことにより、減額補正となった。

委 員 : 急いで進めていくという印象があったが、時間的に余裕をもって進められるということと解釈した。

地域コーディネーターの配置を見送るということは、違った形で進めていくように検討していくということか。

事 務 局 : 地域コーディネーターの配置については、今後検討を進めていく。

委 員 : 学校のトイレ改修工事について、来年度では、どの程度進むことになるのか。

事 務 局 : 令和6年度末には、児童生徒が主に使用するトイレ全ての洋式化が達成できるよう計画していたが、学校との調整等により、概ね令和7年度末には、計画していた洋式化は完了する見込みである。

2 令和6年度当初予算に係る意見について

(教育総務部次長より説明)

原案可決

委 員 : 「当初予算の概要について」の資料において、少額の事業が載っていることに疑問を感じた。

また、区分について、何が拡充で、何が継続なのか、説明が少ないように感じた。

概要に記載されている事業費が、事業内容に記載している事業に対する費用なのか、事業全体の費用なのか分からない。

例えば、学校保健事業における事業内容で、同性医師の配置を実施するとあるが、これに対しての事業費なのか、同性医師の配置以外の事業も含めた費用なのか、分かりにくいと感じた。

事務局：学校保健事業に記載されている事業費は、事業内容に記載している事業以外の費用も含まれている。

同性医師の配置に係る事業費は、約 200 万円程度となっている。

事業費全体では、児童生徒数の減少等の影響により、前年度から減少している。

教育長：教育委員会だけでなく、市長部局全体で、記載方法が統一されているため、様式を変えることは難しいが、説明内容を工夫していくことで対応していく。

少額な事業を記載している理由としては、市の事業として、実施していくことに大きな意味を持つため、記載している。

委員：小学校及び中学校運営管理事業における水泳授業指導業務の内容についても、説明いただきたい。

事務局：小学校運営管理事業における約 7,700 万円については、全て水泳授業における委託費を記載している。

委託費の内訳としては、指導費用のほか、バスによる移動費用等も含まれている。

今年度は、民間プール施設を活用した委託は 2 校、インストラクターを学校プールに派遣し実施する委託は 3 校実施した。

今年度の事業費は、小学校と中学校を合わせて約 2,000 万円であったが、来年度の実施では委託する学校を 6 校増やしたことで、事業費が約 7,700 万円となっている。

委員：事業の流れを理解できるような説明書きをしていただきたい。

教育長：記載内容については、検討していく。

委員：建設事業について、中学校特別教室の空調設置とあるが、普通教室には、空調が導入されているが、音楽室や体育館は設置できていないということか。

事務局：普通教室については、令和元年度に小学校及び中学校の全ての教室に設置済である。

また、使用頻度の高い音楽室や図書室といった特別教室についても設置している。

この度は、現在設置していない教室にも空調を設置するため、予算計上している。

体育館の空調設置についても、必要性は認識しているが、断熱性の低い体育館については、費用面等考慮しなければならない点も多くあるため、他市の事例等を研究しながら、検討していく。

委員：大阪府では、全ての地域で導入していると聞いている。

加古川市の現状としては、体育館の空調設置について、研究等を進めている段階で、設置については、進められていないということか。

事務局：費用面のこともあるが、特別教室で空調設備が未だ設置されていない箇所やトイレの洋式化等、他にも進めていかなければならない事業もある。

これと並行して、体育館の空調設置は、研究を進めているところである。

委員：教育費における建築等の工事費用の割合が非常に大きいと感じている。

大切なことだと思うが、ALTやスクールカウンセラー等の安定的な配置ができていいのか不安になる。

教育委員会で取り組んでいることも多くあると思うので、対外的にもっとアピールをしていただきたい。

当初予算の概要についての説明資料は、議会用としては良いと思うが、一般の人々も見えて理解できるように作成して欲しい。

事務局：ALTやスクールカウンセラー等の配置については、国や県の動向から左右されるところもある。

加古川市内でも、ALT等の数が不足しているというのは、大きな問題であるという認識である。

また、来年度4月から開校する両荘みらい学園では、学校司書の雇用について試行実施する。

これについて、効果が見込まれば全市的に拡充していきたいとは考えている。

教育長：教員の配置については、県の予算になるため、市の予算では見えない部分であるが、加古川市では多くの予算が充てられている。

スクールカウンセラーの配置も、非常にニーズは高いが、県費という条件があるため、県の厳しい財政状況を鑑みると、進めにくいという現状もある。

司書については、さきほど説明のあったように、来年度開校する両荘みらい学園で試行実施し、司書の拡充について検討を進めていきたい。

3 「教育アクションプラン 2024」の策定について

(教育総務部次長より説明)

臨時教育委員会にて修正内容を報告

委員： 今回の資料を見て、分かりやすいと感じた。

注釈も五十音順になって見やすいと思った。

注釈に記載されている単語が、どのページに記載されているか分かるように記載されれば、更に分かりやすくなると思った。

事務局： 一つの単語が複数のページに記載されていることもあるため、掲載ページの記載について検討する。

委員： 「ウェルビーイング」「教育DX」「COCOLOプラン」といったいくつかの単語が、一般の方が理解ができるのか疑問に思った。

ALTやスクールカウンセラーについても、もう一言説明があっても良いように思えた。

普段聞きなじみのない単語もあり、何か他の言い方に変えられないか、検討いただきたい。

教育長： 今回のアクションプランについては、注釈を省略した部分もあるが教員関係の業務に携わらなければ分からない単語もあるため、必要なものは追加を検討する。

普段使用していない単語も、言い方の検討が必要かと思う。

委員： スクールカウンセラーとメンタルサポーターの違いも説明があれば良いと思った。

委員： 生成AIといったICTが、子どもの中でも非常に浸透している。授業評価等、生成AIを取り入れることによる課題もある中で、内容に触れることは難しいと思うが、単語として、どこかに触れておいても良いのではと思った。

教育長： いただいた意見は、第4期の見直しの際に検討したいと思う。

委員： ウェルビーイングはカタカナ表記ではなく、英単語ではないのか。

事務局： 教育委員会だけではなく、市全体でカタカナ表記としているため今回のアクションプランでも合わせている。

注釈を入れる等で対応できるか検討する。

- 教 育 長 : アクションプランは、他の計画よりも、比較的人目に付きやすい資料であり、どこまで丁寧に記載するのか、より簡潔にまとめるのか大きな課題であった。
石川県加賀市では、非常に簡潔で良い資料となっている。
- 事 務 局 : 石川県加賀市に視察へ行った際、アクションプランを確認した。
イラスト等も活用し、非常に簡潔で分かりやすい資料であった。
本市でも、参考にしながら、分かりやすい資料の作成に努めていきたい。
- 委 員 : 10 ページに記載されている「生徒指導体制の充実」に関しては、近年の状況から、重要度は少し薄れているような印象がある。
次回の計画策定の際には、重要度から順に列挙していくことも資料として分かりやすいと思う。
また、分かりやすい表現は、短い文章であれば良いという問題でもないと考えており、短くしすぎて、大事な部分が抜けないようにしてほしい。
- 委 員 : 7 ページの「学校図書館の整備の推進及び設置活動の推進について」学校司書の配置が、加古川市は、県内他市町村より低い数値であることも気になっており、両荘みらい学園で取り組むのであれば、内容に触れても良いのではと思った。
8 ページの「GIGAスクール構想の実現」について、予算の際にデジタル教科書に対する取り組みも説明されていたため、このアクションプランにも、記載して良いのではと思った。
11 ページの「不登校児童生徒への支援の充実と多様な教育機会の確保」についても、現在教育委員会事務局で検討していることを、積極的に記載しても良いのではと思った。
- 事 務 局 : 不登校児童生徒への支援について、現在取り組もうとしている内容も含めていこうと思う。
- 委 員 : 保護者がこのアクションプランを見るときは、何か困った時に見ることもあると思うので、内容を所管する部署の問合せ先も記載しておくこと、より良い資料になるのではと思った。
また、国からの政策と市の取組を対比できるような表現にしても良いのではと思った。
- 委 員 : 溝口委員も言っていたが、今現在、市が取り組んでいること又は取り組もうとしていることも積極的に記載して欲しい。

教育長：いただいた貴重な意見は、一度修正を加え、次回の臨時教育委員会にて、報告したい。

4 学校運営協議会の設置について

(教育指導部参事より説明)

原案可決

5 令和6年度加古川市立学校教職員研究・研修計画について

(教育指導部参事より説明)

原案可決

教育長：来年度は、初任者の教員が増える見込みであるため、充実した研修内容を考えていく必要がある。

加古川市では、個別最適な学習をどのように進めていけば良いのか研究する必要もある。

委員：教員からの要望に沿った内容の研修を開催することもあると思うが初任者が多いのであれば、保護者等への対応について、教員が相談できる場も必要かと思う。

例えば、昔は部活動も毎日のように実施していたが、近年は熱中症のこともあり、そこまで積極的に実施していない現状があり、地域の方から疑問に思っている声を聞いたことがある。

今の教育現場の方向性について、学校と地域の方で共通認識が持っていない気がする。

どの世代にも、今の学校現場の状況を共通認識として持てるように取り組んでいただきたい。

事務局：教員からの要望での研究、研修は、引き続き実施していこうと考えている。

校長、教頭含めた学校現場の教員は、様々な方と対応することがあるため学校の現状を知っていただくことも大切だと思う。

学校経営についての研修も実施しようと考えている。

また、初任者だけでなく、主幹教諭のような教員にも学校経営や地域の関わり方について、研修していきたいと思う。

委員：研究・研修を受ける教員が、受講する意味を感じながらできるように実施して欲しい。

6 加古川市指定史跡名勝天然記念物の指定について

(教育指導部参事より説明)

原案可決

委員：北大塚古墳をはじめ、市内の古墳等を神野小学校の児童が見に来たときは、好評であったと聞いている。
近くで見ることができる子どもだけでなく、市内全域で見に来てもらえるように取り組んでいただきたい。

事務局：これだけ古墳が集まっている地域は非常に珍しいものである。
教育委員会としても積極的にアピールしていきたいと考えている。
古墳だけでなく、様々な史跡があるため、市内の方々にも知っていただけるよう、現地見学含め、検討していきたい。

○ 次期定例教育委員会予定日のこと

4月4日（木）午後2時から開催することに決定

○ 教育長諸報告

(1) 令和6年第1回市議会（定例会）における代表質問及び一般質問について

令和6年3月4日から令和6年3月6日まで、令和6年第1回市議会（定例会）における代表質問及び一般質問があった。

(2) 令和5年度“ぐうっと”くる「ことばの力」作品コンクールについて

令和5年度“ぐうっと”くる「ことばの力」作品コンクールの表彰式に参加した。
表彰作品を数点紹介した。

○ 教育委員諸報告

[溝口委員から]

(1) 令和5年度市町村教育委員会研究協議会（第6回）について

令和6年2月9日に東京で開催された令和5年度市町村教育委員会研究協議会に参加した。

委員：GIGAスクール構想に関して、導入した端末の維持更新のために一台当たり5.5万円の基金を都道府県に設置した。

デジタル教科書についても、令和6年度に今年度と同内容で導入予定。

令和5年度に、不登校に関する通知を発出しているが、その通知の趣旨に関して、誤った理解にならないよう説明があった。

また、いじめや不登校が見過ごされることに問題意識を持っており今後も積極的な認知と組織的な対応に努めてほしいとの説明があった。

性暴力に関して、教育委員会によっては懲戒免職処分にせず停職処分に止めているところもあるが、懲戒免職処分にする事でデータベース化され、今後教壇に立つことができなくなるよう制度化されているため、留意されたいとのことであった。

いじめ対策の緊急パッケージとして50億円の補正を行っておりその中に学びの多様化学校設置に係る部分も予算化している旨の説明があった。

昭和・平成の児童生徒に対して「させる」という発想で教育を行ってきたが、児童生徒を「支える」という発想で教育及び指導をしてほしいとの説明があった。

〔坂元委員から〕

(1) 加古川教育フォーラム及び教育行政視察について

- 委員：加古川教育フォーラムにて、中学生の生徒が劇を演じていた。これまで子どもたちが取り組んできたことを、一つにまとめて表現しており、非常に良いものであった。
- P T C Aの講師の説明について、上手く言葉を使って、説明いただき、言葉をまとめる力、表現する力が素晴らしいと感じた。
- A S Uへの視察については、実際に学校にも入らせてもらい、また教員からの話も聞くことができ、良い時間であった。
- 卒業した子どもたちも、新しい環境でもやっていけていることを聞き、溝口委員の話でもあった「支える」教育が、子どもの将来にも繋がるのではと感じた。
- 事務局は二度目の視察だったと伺った。
- 二度目の意味もあると思うが、毎年の教育委員の視察が、事務局にも十分活かされるようにしていただきたい。

〔播委員から〕

(1) 教育行政視察について

- 委員：A S Uへの視察について、子どもの選択肢が増えることは良いことだと思った。
- 現在の不登校支援として、わかば教室等により居場所を作って支援いただいているところであるが、仲間との生活という面では、学びの多様化学校が役に立つと感じた。

○ 教育指導部長諸報告

(教育指導部長から報告)

(1) 社会教育委員会議の開催について

令和6年2月21日(水)に、令和5年度第6回社会教育委員会議を開催した。

(2) 第16回加古川教育フォーラム、家庭教育大学全市研修会、P T C A活動支援事業研究大会アンケートまとめについて

令和6年2月17日(土)に開催した「第16回加古川教育フォーラム、家庭教育大学全市研修会、P T C A活動支援事業研究大会」のアンケートのまとめを報告した。

以上、2件について報告

○ 教育総務部長諸報告

(教育総務部長から報告)

(1) 就学援助(入学準備金)の申請受付について

就学援助の申請受付を1月下旬から令和6年2月15日(木)まで行った。

(2) 志方地区の教育環境に関するアンケート調査の実施について

3月1日(金)から3月29日(金)まで、志方町の全戸を対象にアンケートを実施している。

委員 : アンケートを集計する中で、高齢者だけの世帯や子どもがいる世帯等、家族構成ごとに集計し、それらを比較できるようなものになっているか。

事務局 : アンケートの回答は、各世帯代表で一つ回答をいただき、何年生の子どもがいるかを回答いただくようにしているため、子どもがいる世帯かどうか、分けることができるようになっている。

そのため、両荘地区でのアンケートと同様に、子どもがいる世帯といない世帯等を比較できるような集計を実施する予定である。

以上、2件について報告

○ 閉会 午後4時20分